

# ヒヤリ・ハット調査 浴室等に潜む危険 概要

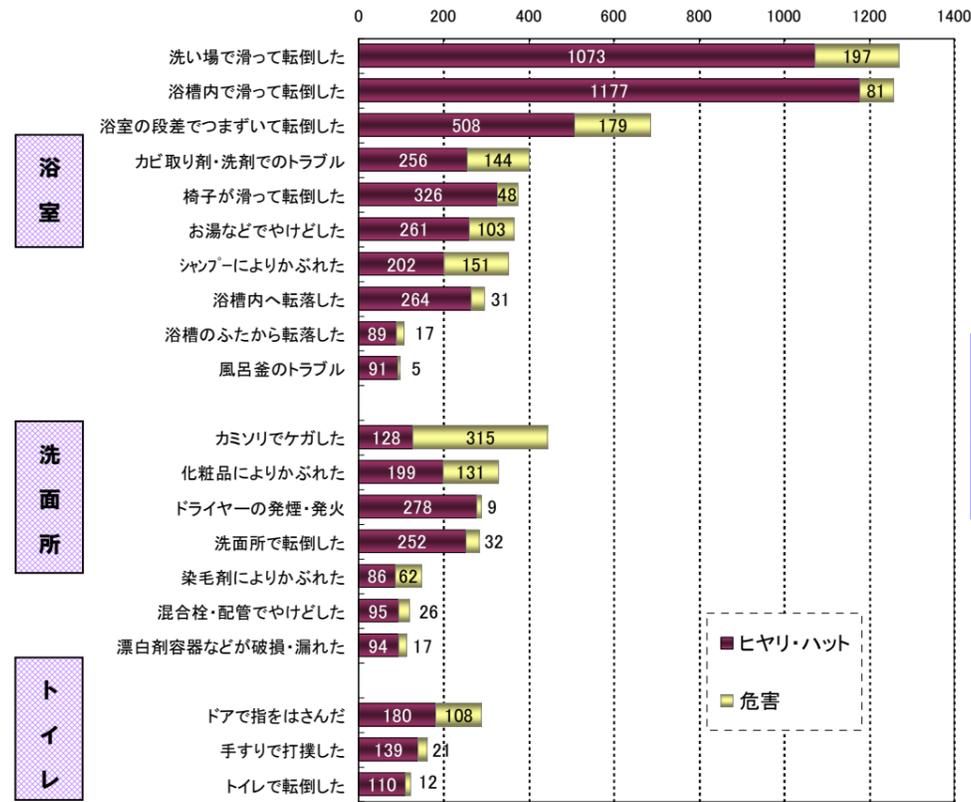
浴室等では6割の方がヒヤリ・ハットや危害を経験!

## 「浴室等に潜む危険」調査

## 「浴室用品等による危険」調査

### ヒヤリ・ハット/危害の経験 ワースト20

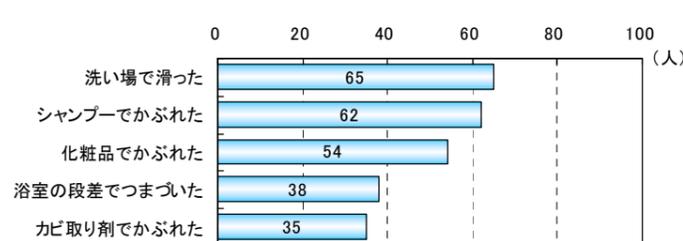
N=4000



- 浴室・トイレ・洗面所での事故は、浴室の床や浴槽内で滑って転倒が圧倒的に多く、浴室の段差でのつまずきによる転倒がこれに次ぐ。
- ヒヤリ・ハットや危害をした人のうち、危害の割合が比較的高いのは、「カミソリによるケガ」や「化粧品等による皮膚障害」「ドアでの指はさみ」であった。

### 医療機関を受診した人が多いのは

(N=4,000)

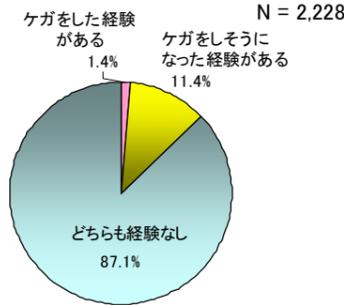


- 医療機関を受診した人が最も多いのは「洗い場で滑って転倒」で、シャンプーや化粧品によるかぶれがこれに続く。
- 入院した事例は、洗い場で滑って転倒(2人)、浴槽内へ転落(1人)、浴槽のふたから転落(1人)等だった。

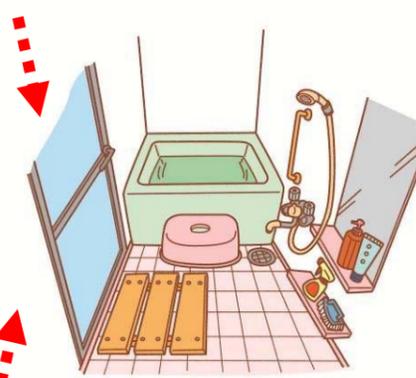
具体的な体験例は?

### 【入浴剤で滑って転倒】

- しっとりする入浴剤を使用していたので、浴槽内がつるつるしており、体勢を変えようとしたらつると滑り危うく溺れかけた。
- 入浴剤が良く溶けないうちに浴槽に足を入れたら、浴槽の底に貯まっていた入浴剤で滑って、浴槽の縁に腰をぶつけた。
- トロリとする入浴剤を入れていたが、不用意に浴槽に入った為に足を滑らせ頭まで水没した。鼻から水が入りちょっと苦しかった。



入浴剤使用者のうち約12.8%の人が入浴剤の滑りでケガをした、又はしそうになった経験があると回答。中には、腰を強打した、溺れそうになった事例もあった。入浴剤を使用するときは、慎重に行動することが大切である。



### 【アロマキャンドル・オイルでトラブル】

- アロマの香りが好きで、たまにバスルームで使っていた。脱衣所に置いてあった携帯が鳴ったので、慌てて出てキャンドルをいくつか同時に倒してしまい、軽いやけどをして、熱かった。
- ガラス製品にお湯をいれ、アロマをたらしお風呂の窓枠に置いていたら、不注意でガラスが割れ、足を切った。

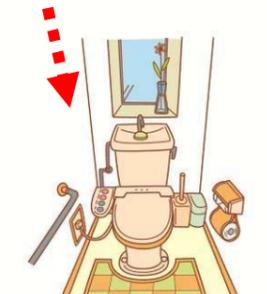
アロマキャンドルのように火を使う製品はたとえ小さなものでも危険が伴う。また、浴室内にガラス製品を持ち込むと破損した際にケガをしやすくなるので十分注意が必要である。



### 【ドライヤーの発煙・発火】

- ドライヤーの付け根部分からパチパチと火が出て焦げたにおいがした。やけど等はなかったが、安心して使っていたものが急に壊れたので怖くなった。
- ドライヤーの吹き出し口にホコリがたまっている状態で使っていたら、ホコリに点火して煙が出た。あやうく髪の毛が燃えるところだった。

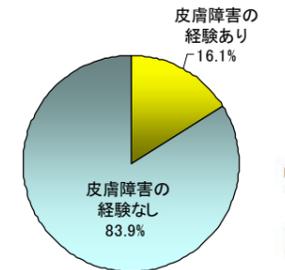
ドライヤーの使用状況や保管状況によっては、コードの一部が断線したり、内部にホコリがたまったりして、発煙・発火に至ることもある。電源コードは無理に曲げたり、ねじったりしないことや、吸込口のホコリは取り除いて使用などするなどの注意が必要である。



### 【カビ取り剤によるかぶれ・炎症】

N = 2,878

- カビ取りスプレーで清掃中換気が悪かったため、苦しんだり、目の前が黒くなりめまいを起こした。
- 手袋をせずにカビ取り剤を使用していたため、皮膚がかぶれてしまった。
- お風呂のカビ取りをしているときに、カビ取り剤が目に入ってしまった。眼科で受診して3日くらいで完治した。

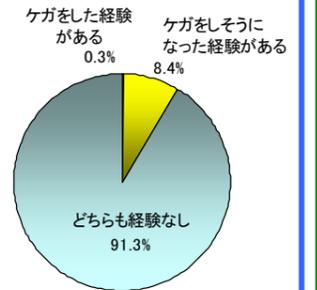


カビ取り剤使用者のうち、16.1%がカビ取り剤で皮膚障害(かぶれ・痛み・かゆみ等)の経験があると回答。皮膚障害以外にも、「換気不十分で気分が悪くなった」や「目の中に入れて炎症・充血」という事例がある。お風呂の清掃にカビ取り剤は効果が高い反面、使用時は十分に換気し、手袋等保護具を身に付けるなどの注意が必要である。

### 【浴槽内へ転落】

N = 601

- 子供と一緒に風呂に入っていて、洗い場で自分が頭を洗っていて子供から目を離した際に浴槽に転落した。
- 子供が椅子の上に乗っておもちゃをとろうとして浴槽の中に転落してしまった。



小学生以下の子供を持つ保護者の8.7%で子供が浴槽内に転落しケガをした、又はしそうになった経験があると回答。子供が浴槽へ転落した場合、気づくのが遅れると大きな事故になりかねない。できるだけ目を離さないようにすることが大切である。

### 【トイレ内での打撲】

- トイレの掃除をしているとき、床の掃除をした後、勢い良く立ち上がった際、壁面にある、取っ手に思い切り頭をぶつけた。かなり大きなたんこぶができた。
- トイレでは、床の清掃中に立ち上げるとき頭をぶつけたケースが多数あった。タオル掛け、収納ボックス、ドアノブなどにもぶついている。十分注意して清掃する必要がある。